



同風あらかると 39



発行元：茶道裏千家淡交会青年部近畿第一ブロック

発行人：ブロック長 岡村 加奈

第39号 発行日：2026年2月1日

2025年・2026年 近畿第一ブロック活動テーマ活動テーマ

主人公～茶道を楽しみ、茶道でつながる喜び！笑顔あふれる近畿第一！

今、青年部の仲間が以前より少なくなっているという寂しい課題をかかえながら、近畿第一ブロックも新しい体制で今期をスタートしました。

その中で今の時代に合った「新しい楽しみ方」を、部長さんと共に考え活動した1年でした。また、楽しみ隊・支え隊・学び隊という3つのチームを設置し、だれでも活動の中心となり活躍いただける機会をつくりました。

実際たくさんのアイデアを出していただき行事を盛り上げてくれています。

「皆さんは、青年部を楽しんでいますか？」大変なこともあります、それ以上に

「参加してよかった！」と思える時間を増やしたい。会員一人ひとりが笑顔の

「主人公」になれるよう、のこり1年も精一杯努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



ブロック長 岡村 加奈

最後に、やりたいを叶えるサポートをするブロックです。要望が多かった海外企画として台湾行きを企画しています。私がお茶の活動を心から「楽しい！」と思えるようになった初めて参加したブロック行事で訪れた国です。最初は一人で不安でしたが、社中だけでは味わえない感動を知りました。

多くの会員の皆さんの青年部にはまるきっかけになれば嬉しく思います。

各青年部紹介

滋賀青年部 部長 大西 真澄

滋賀青年部の2025年の活動、【わくわく子供教室】では小学生に茶道を体験していただくお手伝いを行い、日本文化に親しむ貴重な機会を提供することができました。【三者合同茶会】では、初めてブロックへお手伝いをお願いし、3名の方にご参加いただきました。参加校の顧問の先生からは「今までで一番分かりやすく、とても良かった」とのお言葉を頂戴し、活動の手応えを感じることができました。【己高庵の春秋のお茶会】につきましては、運営元の変更により今後の開催は未定となっております。

また、今年はグループLINEを作成し、活発な意見交換ができる環境づくりにも取り組みました。

2026年は地域の観光物産協会様にもご協力をお願いし、茶道関係者以外の方々へも広くアピールしていきたいと考えております。多くの方に興味を持っていただける企画を通じ、皆が楽しめる青年部活動を目指してまいります。



奈良青年部 部長 富永 深智

奈良青年部は、現在78名の会員で活動しております。

2025年度は、3月総会・練り香作り体験、4月堺・利品の杜への遠足、5月東大寺献茶式施茶席、6月小寄茶会、8月東大寺夜間特別拝観呈茶席、10月親支部行事での呈茶席、11月小寄茶会、と様々に活動いたしました。

6月の茶会は、初めて学校茶道との合同で行いました。一生懸命な学生さん達の姿に刺激を受け、未来の仲間との貴重な出会いにもなりました。

2026年度も、お寺や神社、会館での小寄茶会や研修、献茶式など、奈良ならではの行事が万歳の一年になりそうです。

これからも、真剣な学びと楽しい笑顔溢れる青年部を目指して参ります。

引き続き、奈良青年部を、どうぞよろしくお願いいたします。





京都東年部 部長 大下 尚平

『以茶為尊』～青年部を楽しもう～をスローガンに掲げ、前部長より和気あいあいとした雰囲気を引き継ぐ形で活動がスタートしました。新入会員歓迎会から始まり、恒例の壬生老人ホーム慰問では浴衣での呈茶で季節感を楽しんでもいただきました。また、恒例になりつつある電茶シリーズは開業100周年を迎えられた叡山電鉄様のご協力のもと、貸し切り車輛で「えいでん茶まつり」を開催し地域の方に楽しんでいただき、青年部も開業当時の衣装を纏いおもてなしを楽しみました。育成委員会行事では親先生や茶道部学生と一緒に竹カゴを作り懇親も深めました。2026年も“茶の湯”を通して出会えた親先生や仲間との尊い絆を大切に、青年部の魅力や楽しさを感じていただける活動を展開し、連合会やブロックの活動へも積極的に参加することで、青年部同志の交流を深め、さらなる活性化に繋がりたいと思います。



京都西青年部 部長 寄神 崇白

平素より私たち京都西青年部の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。多くの方々のご支援のもと、青年部活動を進めてくれた前年度だったと振り返っております。秋の大寄茶会、納涼会など、運営側も参加側も双方が楽しみ、時が過ぎていくような楽しい時間を過ごしました。その中で茶道の学びはもちろんの事、新しい出会いそして青年部間の交流もうまれたかと思えます。

今後も京都西青年部のより一層の発展を目指し、会員皆様が楽しみ、そして茶道を通じてともに成長できる場所であることを目指し微力ながら部長を務めてまいりますので、一番近くで活動する京都の他青年部、ブロック内青年部の皆様と協力し活動を共感していけたら幸いです。引き続きよろしくお願いいたします。

日頃よりご支援を頂いてます支部長様はじめ幹事長先生、親先生、諸先輩方には今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。



京都南青年部 部長 塩竈 義晴

京都南青年部は2026年度は78名で活動をスタートいたしました。

今年は『ともに学び育ちあう』をテーマに、お茶に関する様々な活動を行い、会員相互の交流を通して、個人はもとより青年部全体の成長を目指しております。昨年は、毎月の例会をはじめ、4月には丸久小山園にてお出かけ例会、7月には上七軒にて納涼会・新入会員歓迎会、9月には御香宮神社にて「香寿茶会」、11月には三木竹材店にて支部・学茶の先生方と竹花入れ作りの三者合同行事、12月にはグランヴィア京都にて納会を開催いたしました。大勢のお客様にお越しいただき、改めて、お茶の楽しさを感じました。引き続き、京都南青年部をどうぞよろしくお願いいたします。



京都北青年部 部長 高木 慶太

2025年は、『以和為貴～出会いと学びに満ちた豊かな集い～』をテーマとし活動をスタート致しました。2024年に17名の卒業生を送り出したことによる不安と、優秀青年部として表彰を頂いたことによるプレッシャーもありましたが、活躍して下さる役員・会員も新たに増え、そのお力添えもあり青年部活動に邁進することが出来ました。事業としては、2月の「総会」から始まり、5月の春のお出かけ事業として「茶摘み・茶そば打ち・茶葉天ぷら体験」、8月の納涼会にて「BBQ」、

9月の三者合同事業として「中村翠嵐様の工房での交趾絵付け体験」、11月に焼きたてのお餅によるぜんざいが好評であった「上七軒歌舞練場でのシン北茶会」、12月に「納会・卒業式」を催させて頂きました。2026年も青年部活動に邁進し、茶道セミナーの主管もさせて頂きますので宜しくお願い致します。





宮津青年部 部長 中村 実紀

宮津青年部は丹後半島に位置し、宮津・伊根・与謝野・京丹後地域で活動しています。美しい海と山に囲まれ、天橋立や間人(たいざ)のカニ、丹後ちりめんの絹織物など、自然と文化が息づく地で、季節を感じながらお茶を楽しんでいます。

2025年の会員数は減少から増加に転じ、12名に倍増しました。

会員の増加により支部茶会での本席担当などできる行事が増え、また新入会員歓迎会を賑やかに行うことができました。

皆それぞれ忙しい日々を過ごしながらも、心を整えるために茶道は必要という思いを持って活動しています。少人数だからこそ、一人一人が出したアイデアを大事にし、お互い認め合いながら地域の良さをお席づくりで表現し、次世代へつないでいきたいと思っています。



両丹青年部 部長 森野 友彦

2025年、両丹青年部は創立60周年という記念すべき節目を迎えました。

親支部創立80周年と合わせ記念大会を開催し、関係者並びに同門の皆様とこの喜びを分かち合いました。

記念大会では「多様性」をテーマに、青年部OBや学校茶道の皆さんのお力添えをいただき、ガーデンチャペルにて薄茶席を設けました。

オリジナルの立礼棚や茶箱の製作、和洋を取り合わせた道具の選定など、会員一同で一から作り上げた経験は、これまでの歩みを振り返り、新たな一歩を踏み出す貴重な糧となりました。

また、11月のブロック研修会では会場担当として、大本教内（綾部市）の美しい紅葉の下、野点にて一碗を差し上げました。皆様の心に残るひとときとなっていれば幸いです。

2026年も、青年部というコミュニティが、部員一人ひとりにとって「ありのままの自分に戻れる場所」であり続けられるよう、歩みを止めることなく活動してまいります。



但馬生年部 部長 榊原 司

2025年、但馬青年部は25名で、『茶人三楽』をテーマとして大雪に見舞われた2月の総会からスタートし、同時に親先生と共にお菓子作りも行いました。5月には花にゆかりのあるお寺で花柄のお道具に囲まれた『らんまん』、11月にはお菓子を皿そばに見立てた『出石ぶらり』をテーマに添釜をさせて頂きました。6月には学茶の高校生の皆さんと共に万博の設えで『手をつなぐ』をテーマにお席を設けました。7月には金谷五良三郎先生の工房にお邪魔して、お菓子器・菓子切作りにもチャレンジしました。

2026年も引続き、三楽（①茶道を楽しむ②お茶に関する事で楽しむ③皆様との繋がりを楽しむ）を少人数ながら青年部の楽しさを発信して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



第37期 リーダーシップトレーナー研修に参加して

第37期 リーダーシップトレーナー出向員 戸高 直人

はじめに、L・T研修に参加をお許しいただいた坐忘斎御家元様、送り出してくださった支部の先生方、京都東青年部の皆さま、そして日頃よりご指導いただいている師匠の先生に深く御礼申し上げます。

私たち37期L・Tは、全国より集った27名で、一年間の研修を通じて、青年部のあり方や会員継続・拡大に向けた取り組みなどを学んでまいりました。

各回ごとに課題が設定され、その解決策をオンラインのミーティングを重ねて話し合ったり、最後の呈茶席に向けて時に衝突することはあっても、最後には協力してより絆が深まったりと、とても濃厚な一年間でした。

今回の研修で学んだことを活かして、これからの青年部活動により一層励んでまいりたいと思っています。





ブロック移動交流会

京都北部

4月27日

宮津青年部

野木教貴

淡交会青年部近畿第一ブロックの交流事業を4月27日に宮津・天橋立にて開催しました。

「宮津を楽しみ 北部でつながる！笑顔溢れるツアー」と題した交流事業で、総勢47名の青年部会員とご家族にご参加いただきました。

当日は、春の陽気な天候に恵まれて集合場所の天橋立駅から徒歩でスタート。

天橋立の知恩寺を通り抜け、有名な廻旋橋を渡り、松並木に設置した野点スポットへ。

岡村ブロック長から開会挨拶の後、宮津支部の塩見直前青年部長によるお点前。

お菓子には有名な知恵の餅を4つの製造元から取り寄せて食べ比べをしました。餡の味や餅の固さなど、好みは様々で美味しくいただきました。

日本三景天橋立でお茶とお菓子を楽しんだひと時は良い思い出になりましたね。その後、レンタル自転車とモーターボートに分かれて天橋立を渡り、ランチタイム。

まつなみさんのお弁当を美味しくいただき、午後からの事業スタート。

リフトとケーブルカーに分かれ天橋立傘松公園へ。眼下には、渡ってきた

綺麗に伸びる松並木。記念写真と股のぞき体験、みなさん笑顔が溢れていました。

下に降りた後は、丹後一宮元伊勢「籠神社」へ移動しました。籠神社の歴史などガイドさんに丁寧に解説いただき、満足感の高いツアーになりました。

帰りはみんなで観光船に乗りカモメのエサやりも楽しめました。

今回のブロック移動交流会 in 宮津では、支部の垣根を超えた交流と日本三景天橋立での野点を体験でき、観光と文化と歴史を学べた1日になりました。

お茶縁と友情のお陰様で楽しい交流事業が開催できましたこと、心より感謝申し上げます。



奈良

7月5日

奈良青年部

富永深智

7月5日、我々奈良青年部にはお馴染みの郡山へ皆様をお迎えいたしました。

お子様を含む32名の茶仲間と共に、暑い一日を過ごしました。

駅前の「季乃庄」さんで名物三輪そうめんと、菊屋さんのお城の口餅のついた特別ランチをいただいたあとは、ボランティアガイドさんの案内で、郡山城跡を満喫しました。

「菊屋本店」では、季節のお菓子「天の川」と共にお呈茶を。

暑い中歩いた身体に冷たいお抹茶が大変美味しく、皆様喜んでいただいたかと思えます(^^)

さて、締めは、「こちくや」さんにて、プチ金魚釣り大会！

市を上げた大会を明日に控えた本家本物の釣り名人達が練習する中、我々も頑張ってみました、なかなか難しいものですね。

小学生ぶりくらいの金魚釣りに苦戦しながらも楽しい時間を過ごしました。

馴染みの郡山とはいえ、知らないことがいっぱいあることに気づけた一日。皆様とご一緒できたこと、大変嬉しく思います。

来年の大河ドラマにゆかりのある郡山、まだまだ知らないことも多そう！

また皆様、ぜひお越しくださいませ～♪





京都

8月10日

京都西青年部 堺美由紀

2025年8月10日小雨の降る中、3部構成で京都にて交流会を行いました。1部56名、2部27名、3部22名のご参加をいただきました。

1部は美濃吉本店 竹茂楼様にて朝茶膳をいただき、食後にやわた走井餅老舗様の走井餅と丸久小山園様の冷抹茶をいただきました。朝茶膳は朝とは思えないほどのボリュームでありながら朝に相応しいあっさりしている味付けで、ご参加いただいた皆様、大満足でございました。

食後には出来たての走井餅を美味しくいただき、丸久小山園社長の小山直前ブロック長より冷抹茶の点て方のレクチャーを受け、皆様に点て合いをしていただきました。通常、冷抹茶だと泡を点てるのは難しいですが、皆様、流石に普段しっかり修行されている方々。きちんとクリーミーに出来上がっていらっしゃいました。

2部は手描友禅染「挿し友禅」体験と大宗匠ご出演のドキュメンタリー『語り続ける人たち～1945年戦争の記憶～』というショートフィルムを鑑賞しました。

その後はみやこめっせにてハンカチに友禅染で色を挿す体験を行いました。個性豊かな出来上がりでした。伝統産業ミュージアムにて伝統産業の観覧とお買い物を行った後、ショートフィルムの鑑賞。これからを担う若い世代に向けて観て欲しいという後藤サヤカ監督のご好意で鑑賞させて頂きました。

戦後80年、体験なさった方が少なくなっている時代に、特別特攻隊として戦争を経験され戦友を大勢亡くされた大宗匠のお言葉はとても貴重でした。生涯を通じて、茶道を通じた平和を訴えてこられている大宗匠の想いを引き継いでいく使命を改めて感じました。

3部は立命館大学茶道研究会の方々との交流を行いました。双方に活動をお伝えし合いまして、有意義な情報交換の時間が持てたと思います。



滋賀

11月22日

滋賀青年部

横山貴博

11月22日、紅葉の季節に近江八幡市にて移動交流会を行いました。ご家族、ご友人を含め24人にて近江商人発祥の町近江八幡を満喫しました。まず、たねやクラブハリエのフラッグシップ店「ラコリーナ」に集合しました。駐車場からラコリーナに向かうと赤や黄色に彩られた山を背にした建物の綺麗な景色が私たちを迎えてくれました。今回の交流会は集合の挨拶後、お買い物タイムからスタートです。和菓子のたねやさんと、バームクーヘンで有名なクラブハリエのショップでのお買い物やバームクーヘン工場の見学等を楽しみいただきました。

その後車で「たねや 日牟禮乃舎（ひむれのや）」へ移動いただき昼食の時間となりました。配膳がおわるまでの間、一人一人の自己紹介と挨拶が行われ、皆様の事を少し知る事が出来ました。昼食の野菜膳を美味しくいただいた後、出来たての名物つぶら餅が運ばれ呈茶へと移りました。お点前は今年滋賀青年部に入会したばかりの新入会員さんで、皆さんに注目され緊張の様子でした。参加者の方にもお点前をしていただき楽しい時間を過ごした後、ここからは近江八幡の観光です。

船での八幡堀巡りでは、時代劇のロケも行われる歴史的な街並みを見る事が出来ました。すれ違う船や周りの観光の方々と笑顔で手を振り合い、演劇部らしき学生が時代劇風のチャンバラをしているところも偶然通過しました。





ここで交流会は一旦終了となり、希望者で終了後のオプションとしてお買い物に行きました。江戸時代の酒蔵跡を利用した「まちや倶楽部」で帆布のお店やナッツ専門店などをまわり、その後JA直売所「きてかーな」で地元の食材や加工品を皆さんたくさん買われていました。オプションの最後に近江牛のお店で懇親会をさせていただき解散となりました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今後とも滋賀青年部を宜しく願い致します。



ブロック研修会 ～京都府綾部市 11月16日

京都南青年部 井口 香苗

11月16日、京都府綾部市において、近畿第一ブロック 2025年度ブロック研修会が宮津青年部・両丹青年部・但馬青年部の主管により開催され、ご来賓およびブロック間交流を含め、計76名が参加しました。呈茶は大元本部梅松苑にて行われました。

もみじが色づく庭園を両丹青年部のガイドとともに歩み進めると、立派な茅葺きの重要文化財「木の花庵」に到着。その前には野点席が設けられ、立礼に使用された猪目棚と茶箱は、いずれも両丹青年部による手づくりのものです。絶好の天気と錦絵のようなロケーションの中、まさに野点日和。丹波栗を使ったおいしいお菓子と、温かい一服が身にしみる時間となりました。

昼食・式典・研修会は、あやテラス・ホールにて行われました。昼食には、丹波の恵みが詰まったお弁当とプリンが供されました。会場には各青年部の紹介パネルやLT36期の報告パネルが展示され、さらに宮津青年部による体験コーナーも設置。茶花を入れる体験、お菓子の盛り付け体験、茶筌を30秒で何回振れるかのチャレンジなど、楽しく学べる企画に多くの笑顔が生まれました。

ブロック長挨拶、ご来賓挨拶、総本部報告、全国委員会メッセージに続き、研修会では今日庵業躰・中野宗剛先生に「会記からみる茶会」と題してご講演いただきました。会記だけで満足せず、茶会の時間そのものをもっと楽しんでほしいというメッセージが印象的で、青年部からの質問にも丁寧にご回答くださいました。

続いて行われたのは、但馬青年部によるクイズ大会です。クイズは全3問で、宮津・両丹・但馬の各青年部からご当地の景品が当たる仕組みでした。中野先生も解説に加わってくださり、正解のたびに会場から歓声が上がるなど、大いに盛り上がりしました。

呈茶や楽しい企画を担当された宮津・両丹・但馬青年部の皆様、本当にお疲れ様でした。

そして、ご参加くださいました皆様にも、心より御礼申し上げます。

なお、各青年部の主管制で実施してきた近畿第一ブロック研修会は、青年部会員数の減少による負担などを鑑み、3周を終えた今回をもって、一度運営方法を見直すこととなりました。

これに伴い、主管ごとにブロック内を巡っていた「ジャンボ茶筌」も、一旦箱に納められることとなり、宮津・両丹・但馬青年部の手で納められた茶筌が岡村加奈ブロック長へ引き継がれました。

来年度は、新しい形でのブロック研修会を検討しております。

引き続き、近畿第一ブロック研修会に、どうぞご期待ください。



茶道裏千家淡交会青年部 近畿第一ブロックのページ



chakai.com



facebook.com/kinki1.chakai



<https://chakai.com/>